MIZUHO　みずほ銀行　OneMIZUHO

みずほCustomer Desk Report　2022/07/29 号（As of 2022/07/28）

市場営業部　為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	136.24
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	136.11	1.0206	138.91	1.2163	0.6994
SYD-NY High	136.57	1.0234	139.19	1.2191	0.7013
SYD-NY Low	134.20	1.0114	136.38	1.2105	0.6955
NY 5:00 PM	134.23	1.0196	136.93	1.2184	0.6993

	終値	（前日比）		終値	（前日比）
NY DOW	32,529.63	332.04	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	12,162.59	130.17	日本10年債	0.2000%	0.0000%
S&P	4,072.43	48.82	米国2年債	2.8663%	▲0.1144%
日経平均	27,815.48	99.73	米国5年債	2.6971%	▲0.1382%
TOPIX	1,948.85	3.10	米国10年債	2.6696%	▲0.1144%
ｼｶｺﾞ日経先物	27,875.00	▲ 170.00	独10年債	0.7985%	▲0.1370%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,345.25	▲ 2.98	英10年債	1.8700%	▲0.0845%
DAX	13,282.11	115.73	豪10年債	3.2190%	▲0.0760%
ﾊﾝｾﾝ指数	20,622.68	▲ 47.36	USDJPY 1M Vol	10.40%	0.55%
上海総合	3,282.58	6.82	USDJPY 3M Vol	10.95%	0.61%
NY金	1,750.30	31.20	USDJPY 6M Vol	10.58%	0.19%
WTI	96.42	▲ 0.84	USDJPY 1M 25RR	▲1.13%	Yen Call Over
CRB指数	289.02	▲ 0.06	EURJPY 3M Vol	12.94%	0.37%
ドルインデックス	106.35	▲ 0.10	EURJPY 6M Vol	12.49%	0.10%

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は136.11ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。序盤からﾄﾞﾙ売りが先行。仲値にかけては実需のﾄﾞﾙ買いﾌﾛｰに136.41まで値を戻したが、一巡後はﾄﾞﾙ売り再開。前日対比高く寄り付いた日本株が上げ幅を縮小させる動きを横目に、ﾄﾞﾙ円は135.11まで下落。その後、135円の節目を意識した買いが入ると、135.36ﾚﾍﾞﾙで海外時間へ渡った。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ時間ﾄﾞﾙ円は135.36ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。NY時間に発表される米第2四半期GDP速報値がﾏｲﾅｽ成長となった場合、景気後退入りとなる事から、ﾄﾞﾙ売り優勢。その後は若干持ち直し、135.71ﾚﾍﾞﾙでNYへ渡った。

ニューヨーク

海外市場で27日のFOMC内容を受けたﾄﾞﾙ売りが強まる中、欧州で弱い経済指標の発表が続いていることもあり、ﾕｰﾛ円が下落する動きにﾄﾞﾙ円も上値の重い展開が続き、135.71ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米第2四半期GDP速報値が前期比で-0.9%となり、前回も-1.6%となったことから定義上のﾘｾｯｼｮﾝ入りとなり、先行き懸念からﾄﾞﾙ売りが強まり134.35まで下落する。その後一旦134.76まで戻す局面もあったものの、米長期債金利が4/14以来のﾚﾍﾞﾙまで低下する中ﾄﾞﾙ円は上値の重い推移が続き134.20まで下落し134.23ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、27日のFOMCの結果を受けﾄﾞﾙ売りが強まる一方、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは欧州7月景況感の低下など、弱い経済指標が続きﾕｰﾛも買いづらい中、ﾕｰﾛ円の売りにﾕｰﾛﾄﾞﾙも上値を抑えられ1.0114まで下落し1.0118ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米GDP結果を受けたﾄﾞﾙ売りにﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.0175まで戻す。しかし欧州にはｴﾈﾙｷﾞｰ不足、景気悪化、ｲﾀﾘｱ政治等様々な問題が多くあり、積極的に買い戻す動きも見られず1.0127まで反落する。午後は狭いﾚﾝｼﾞでの推移が続いたが、終盤に掛けてﾄﾞﾙ売りが優勢となり、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.0199まで戻し1.0196ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：西・木村

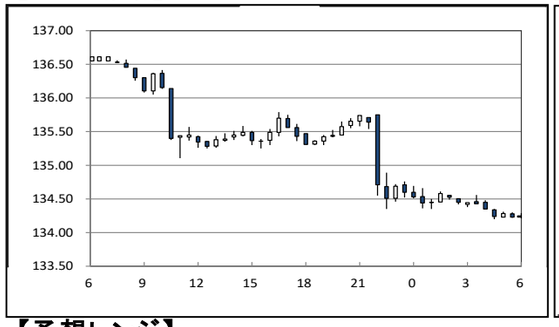
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
7月28日	10:30	豪	小売売上高(前月比)	6月	0.2%	0.5%
	18:00	欧	鉱工業信頼感指数	7月	3.5	5.4
	18:00	欧	ｻｰﾋﾞｽ業信頼感指数	7月	10.7	13.3
	21:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	7月	0.9%/7.5%	0.6%/7.4%
	21:30	米	GDP(年率/前期比)	2Q A	-0.9%	0.4%
	21:30	米	個人消費	2Q A	1.0%	1.2%
	21:30	米	ｺｱPCE(前期比)	2Q A	4.4%	4.4%

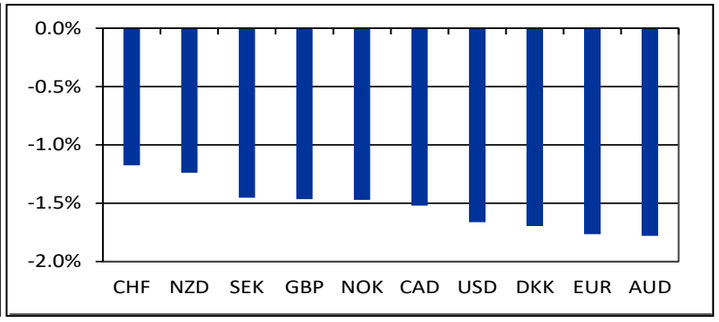
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
7月29日	08:30	日	失業率	6月	2.5%	2.6%
	08:50	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	6月	4.2%/-7%	-7.5%/-3.1%
	17:00	独	GDP(前期比)・速報	2Q	0.1%	0.2%
	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)速報値	7月	8.7%/-0.1%	8.6%/0.8%
	18:00	欧	ｺｱCPI・速報	7月	3.9%	3.7%
	18:00	欧	GDP(前期比/前年比)	2Q A	0.2%/3.4%	0.6%/5.4%
	21:30	米	PCEｺｱﾃﾞﾌﾚｰﾀｰ(前月比/前年比)	6月	0.9%/6.8%	0.6%/6.3%
	23:00	米	ﾐｼｶﾞﾝ大学消費者ﾏｲﾝﾄﾞ・確報	7月	51.1	51.1

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.40-135.00	1.0080-1.0310	136.00-137.60

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、米国の景気後退懸念から大きく下落した。東京時間は136.11レベルでオープン。前日のパウエル議長の利上げペース減速を示唆する発言を受けたドル売りの流れが加速し、一時135.11まで急落。一巡後は135.50近辺で方向感無く推移した。米国時間に発表された米2QGDPは市場予想から下振れ、前期比0.9%減と2四半期連続での縮小。低調な米2Q個人消費や新規失業保険申請件数も併せて米景気後退を示唆する結果に米金利も低下し、134.35まで急落した。その後上値重く推移て134.20まで下落し、134.23レベルでクローズした。
本日のドル円も、上値の重い展開を予想する。インフレ抑制の中、テクニカルリセッション入りした米国経済は、スタグフレーションの色合いが強まっている。本日発表の米6月PCEコアデフレーターや個人支出が低調な結果となれば、ドル円は更に下落しやすいため、注意が必要だ。

OneMIZUHO 未来へ。お客さまとともに